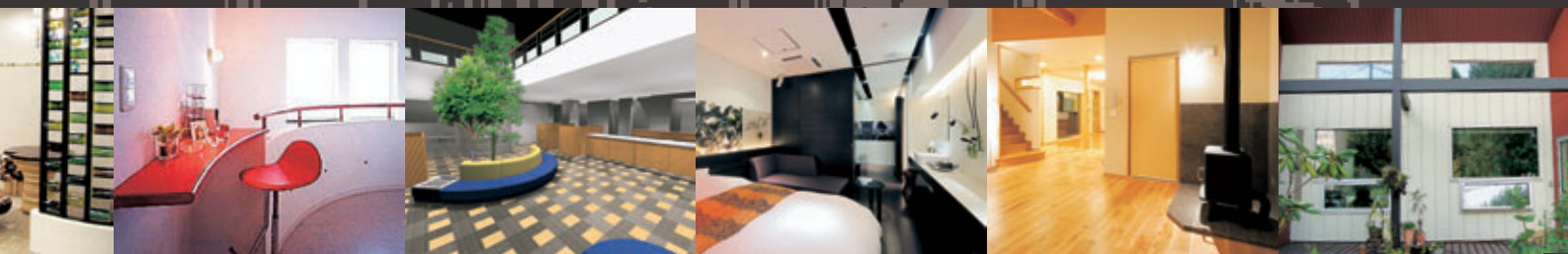


IP NEWS

Interior Planner's News

- 2009.HIPA.WORKS
- 協会の活動
- 杉山宗英のデザイン概念
デザインの価値は。
- 函館バスの旅
- アモウ主催HIPAコンペ
— IPEC2009報告
- 水島弘子(河野銘木店)が見た
ちょっとマニアな北陸
- 会員・賛助会員の紹介
- New face&賛助会員



2010.vol.25

URL <http://www.hipa.biz/>

2009年度活動に想う



会長 河村 利枝子

北海道インテリアプランナー協会 会長 河村 利枝子

世界的不況で景気低迷の中、企業では生き残りをかけ、厳しい競争にさらされております。それに伴い関連する他団体においては会員数の減少で活動が低迷しておりますが当協会においては、会員皆様の結束力が強く感じられます。前年度に引き続き函館見学会・SDWセミナー・IPEC参加・Xマスデザイナーズパーティなど、大変活発に活動いたしました。2年目を迎えた各委員長も独自のカラーが出て活動にも新しい風が感じられる2009年でした。新入会員が積極的に活動し、理事の世代交代もなされました。この流れを今期にもつなげ、今後一層、プランナーの普及につなげていきたいと思っております。

北海道インテリアプランナー協会 事務局 佐藤 利明

HIPAはお陰様で毎年、年ごとに力強くなっていきます。それは会員の皆様方のご協力とご理解の賜物と感謝いたしております。各委員長はじめ皆様にお仕事の合間を縫って委員会の活動を支援して頂いている事がHIPAの力となっていると確信いたしております。数あるデザイン・設計業界組織の中でもインテリアプランナー協会は多分総合力では一番と思っております。なぜなら会員は建築設計士・インテリアデザイナー・コーディネーター・住宅関連者・施工監理者・建材メーカー・内装施工者・学生さん・・・などあらゆる方々が会員です。この力は他に無いでしょう。ジャンルが絞りにくい程度のすばらしい会員組織です。是非このすばらしい会に入って刺激を求めて頂きたいと思う次第です。本年も宜しくご指導お願い申し上げます。

普及委員会 委員長 白鳥 孝

普及委員としては、「インテリアプランナーになりたい。」を年度スローガンとし、オリジナルポスターの作成と資料配布、WEBでの案内、各種セミナーを展開しました。5月にHIPAインテリアセミナーを行い、専門的な知識を有するHIPA会員のPRとIP会員の仕事事例を紹介しながら資格と試験のガイドを行いました。又、7月にはニセコの現代建築と余市の歴史建築物をめぐるバスツアーを行い、両セミナーとも学生を含む約45名のご参加をいただき、IP資格に対する関心を高められたと思います。試験直前講座は、学生を含む9名のご参加を頂き、約8時間の実技講習を行いました。今回は岩手県からの参加者もあり、HIPAの情報が有効にWEB上で確認されている状況がうかがえました。2月中旬の発表を受け、今後より資格試験のPRと合格率UPのため様々な普及事業活動を行ってまいります。

交流・事業委員会 委員長 佐々木 義則

「委員長としての仕事ができているのか、HIPAに貢献できたか、理事としてどうだったか」疑問に思うことが多々ありましたが、委員会のメンバーや副委員長、会長や副会長他の理事達に支えられたおかげで委員会活動を続けることができました。北海道大学の新校舎見学会に多数の参加者が集まり有意義な見学会を行うことができました。また函館のバスツアーでは委員会メンバーの力を借りて、とても貴重なツアーを企画することができ、たくさんの方々にご参加頂きました。昨年慌てて準備した総会後の懇親会については、今回余裕をもって準備にかかることができ、委員会メンバーの新しい顔を知ってもらうよう人選を行いスムーズに、かつ面白いのある懇親会ができたと思います。今後もHIPAの交流・事業委員会の活動に注目をいただき、アドバイス等頂きたいと思っております。

情報委員会 委員長 内村 喜憲

昨年3月にIPニュース Vol.24を発刊してほっとしている間もなく、相変わらずの忙しい1年になりました。Vol.25の掲載記事取材に各委員会が企画された、見学会・セミナーには分担して参加取材致しました。取材したどの企画もHIPAらしい内容で、全てをIPニュースに掲載して会員の皆様にお伝えし、記録として残したかったのですが、如何せんページに制限があるため今回は函館見学ツアーをメインに編集させて頂きました。IPECも当委員会の事業として継続して取り組ませて頂きました。(株)アモウの「すいえんくん」のデザインコンペに始まり、入賞作品の試作機のIPEC出展まで何とかこぎ着ける事が出来、安堵しております。新たに取り組んだSDWの参加も、盛況のうちに無事終了しまして皆様のご協力に感謝致しております。

総務委員会 委員長 熊谷 幸雄

総務委員会は組織強化と円滑な運営のための活動をしていきます。会費の徴収も行なっており、個別連絡等引き続き案内をさせていただきます。また、会員名簿の作成を行なっておりますが、ホームページの名簿とリンク出来るように進めていきたいと思っております。今年度は学生会員の方が2名入会されました。久々の学生会員ですが、若い方にもどんどんインテリアプランナーの資格を目指して勝ち取っていただきたいと思っております。新年会は『コムシェモア』というお洒落なレストランで行なわれましたが、新入会員2名も加わり、総勢40名のたいへん楽しい会となり、冷え込んだ夜でしたが熱く盛り上がりました。今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(敬称略)

4月	11.12日 JIPA北陸大会 see → P13 18日 北大工学部新校舎見学会 →
5月	22日 総会
6月	12.13日 函館見学ツアー see → P6～
7月	2日 インテリアセミナー ・ロングライフ家具 ・IPについて ・長持ちする木材
8月	1日 ニセコ見学会 → ・リンダルシーダーホーム ・HOPの家 ・ヒコ・コシ氏設計のコンドミニアム ・中山眞琴氏設計のコンドミニアム ・余市ニッカウイスキー
9月	5日 ボウリング大会
10月	31日 IP試験事前講習会
11月	1日 SDWトークイベント → ・国境を越えるデザイン 那須聖氏 他 3日 SDWトークイベント → ・食をデザインすること 奥村文絵氏 他 11～13日 IPEC21 於:東京ビッグサイト see → P12 15日 平成21年度 インテリアプランナー試験日 (学科試験及び設計製図試験) 合格の発表は平成22年2月12日(金)
12月	12日 クリスマスパティー
1月	30日 新年会

北大校舎内の敷地をゆっくりと工学部を探して歩中、突然異国へ来たような…(案内状のパスを見て是非参加したいと…)来て良かったー。エントランスを一歩踏み入ると、始めに大空間が広がり空気の流れと質の違いを肌で感じる事が出来ます。大空間なのですが、目に見えない壁で仕切られている様にも思われます。

映像や文章ではなく、実際担当の小林教授と触れ合い、成果をこの目で見る事ができた事は大きなパワーを頂いた感があります。

村中 菜穂子

やっぱりHIPAの見学会は、期待を裏切らない!!いつもどおりキメ細やかなハードスケジュールは参加者に疲れを忘れさせ、感動に変えさせる。

ニセコひらぶ地区で、北海道トラックス(オーストラリア資本)が北海道の建築家と組んで展開する、コンドミニアムは「おとなの遊び心」をくすぐる非日常デザインに呆れた感嘆の声。

アンヌプリ地区で「自然に調和」をコンセプトに、開発を進めるリンダルシーダーホームズ(アメリカ資本)のロッジは、木の優しさに溢れ、緑豊かなニセコの景観に溶け込む美しい建物でした。

今後、公的サポートが充実してくれば、ニセコはもっと面白くなりそうな予感です。

内村 喜憲

【11/1:トークイベント 国境を越えるデザイン】

南1西3のアップルストア札幌店にて行いました。HIPA普及委員長である、(株)カンディハウス白鳥氏が企画。パネリストは、(株)カンディハウス代表取締役社長渡辺直行氏、札幌市立大学デザイン学部講師 那須聖氏、デザイナー 伊藤千織氏の3名。また、コーディネーターは、HIPA 杉山名誉会長という多彩な顔ぶれ。立ち見がほとんどという大盛況にて終了いたしました。

【11/3:トークセッション 食をデザインすること】

東区のINAXショールームにて開催。食専門のクリエイティブディレクター、奥村文絵氏を招いて行いました。ゲストは、(株)バルタジェ 代表取締役 渡辺博幸氏、リリカラ(株) 札幌支店長 小島正己氏。また、コメントーターは、HIPA理事でもある谷内むつみ氏。テーマ「オーガニック」に従い熱いトークを繰り広げました。

内沢 礼子

価値はデザインの

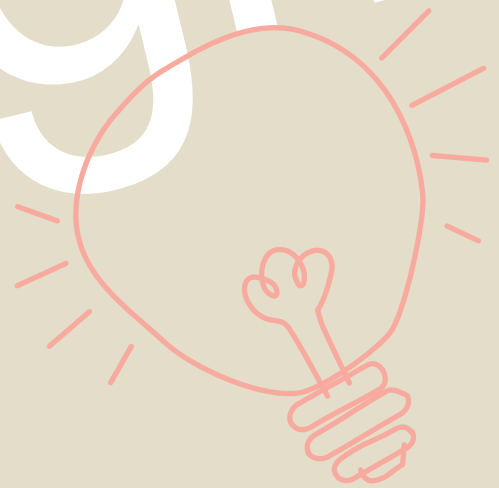
杉山宗英

「デザイン料は洞察力に支払われる」

この言葉は、私が大学時代に剣持勇教授(※1)から聞いた言葉です。建築家フリップ・ジョンソン(※2)の述べた言葉と言われていますが、以来この言葉は私のデザインに対するバイブルになっています。

『洞察力』は多様に解釈されますが、広義においては時代を読む先見性であり、狭義においては目的・機能さらには、クライアントの考え方・希望に対する『洞察』と理解しています。また図面を描いたり、かたちを表現したりする事に価値があるのではなく、洞察したデザイン(計画)に価値が有る事と理解しています。個人的には『洞察』と『新しいアイデア』を1つ入れたデザインを、心がけているつもりですが、正直な処とても難しいです。

デザイン表現は、機能主義から始まり、ポストモダン、バリアフリー、ユニバーサルデザインと時代の流れがあり、現代はその全てが混沌とした、あるいは包括した時代ですが、「デザイン料は洞察力に支払われる」という言葉は、私の中で色褪せず大切に生きてつけています。



※1 剣持勇は当時のインテリアデザインの日本の第一人者、作品に京王プラザ等。学生にとっても人気の教授で優しくダンディ、とても自信に満ちた様に見えましたが、私の卒業の年に自殺され非常にショックを受けました。

※2 フィリップ・ジョンソンはアメリカを代表する建築家。MOMAの建築部門設立。グラスハウス(自邸)、AT&Tビル(現ソニービル)、バンクオブアメリカなどを設計。

※3 松下幸之助は松下電器(現パナソニック)の創始者。経営の神様と呼ばれた。

※4 真野善一は当時唯一の工業デザイン学科があった千葉大学工業意匠科の専任講師。国立大学のしかも日本でただ一人の専門家という事で招聘は困難を極めたという。

※5 レーモンド・ローウィはアメリカに渡りデザイナーとして活躍したフランス人。日本ではタバコ「ピース」の紺色と金色の鳩のデザインで有名。1951年の著書「口紅から機関車まで」はデザイナーのバイブルと言われた。

※6 MAYA段階とはローウィが、消費者の中に潜む『新しいものへの魅力と未知のものに対するおそれ』の臨界点を“Most Advanced Yet Acceptable~先進的だがまだ受け入れられる”を略して名づけた言葉。

デザインでもう1つとても好きな話

松下幸之助(※3)が、60年前の昭和26年(1951年)に、半年間のアメリカ視察から帰国し飛行機から降りた際の第一声が「これからはデザインの時代だ。商品の価値はデザインによって決定する。」と述べ、直ぐに真野善一(※4)を招聘し、製品意匠課を発足させた事です。

当時、現地ではデザインが商品販売の重要な要素として認識されており、レーモンド・ローウィ(※5)のデザインした冷蔵庫が、機能性に変化が無いのにも関わらず販売量が20倍となり、デザインの『力』が販売実績に大きな影響を持つ事が、経営者に認識された時代でした。真野善一はローウィが名づけた“MAYA段階(※6)の思想”をベースに、松下幸之助の“水道哲学(※7)”に照らし『あらゆる階層の、あらゆる傾向の、あらゆる地域の人達にすぐに理解され、すぐに使ってもらえるデザインでなければならない』とこの松下のデザイン理念を押し上げる役割をしました。

このデザイン理念が、現在のユニバーサルデザインの理念にとっても似ている事に驚かされます。そして60年前にデザインの重要性を理解した松下幸之助の『洞察力』に凄さを感じます。

かつて松下のデザインは、世界を見据えた商品づくりをしていたソニーに比べ、泥臭く木目のテレビや、花柄の家電等、デザインを志す学生からは低く見られていましたが、日本ではソニーよりも商品が売れた事の理由として日本人の生活レベルに対応したデザイン戦略が有った事に、そしてそれに対し当時の学生の方に洞察力が無かった事をつくづく感じます。

近年、経済産業省が、欧米の経営者に「会社で重要視している事は？」とのアンケートをした回答(回答は重複)の91%が「デザインが優れている」でしたが、日本の経営者の同回答はわずか12%で、91%が「技術の向上」を挙げました。残念ながら日本の経営者は未だにデザインを“付加価値”として考え、良い商品が出来れば“ちょっと化粧をする”

程度でデザインを理解している方が多いのです。

一方で今日、韓国のデザインは世界で高い評価を受けています。それに伴い商品力も販売力も高められ、サムソンはテレビで世界一の地位にあります。韓国が97年の経済危機(IMFショック)から僅か2年で回復させた原動力はデザインにあったと言われていました。

「経済危機に経営者はデザインを信じた」という言葉で語られる韓国のデザイン政策は、金大中大統領が1998年にイギリス(※8)のブレア首相と共同で、「21世紀デザイン時代宣言」を発表した事に始まりました。国際競争力を高めるためには重要なのはデザインであると気づき、デザイン時代宣言以後に次々と国策としてデザイン教育・振興策が取られました。(※9)

そのデザイン投資のベースとなったのは、アメリカ・イリノイ工科大学のホイットニー教授の“デザイン先行投資とリターンモデル理論～デザイン開発は、技術開発に比べて10分の1の投資額で、3分の1の改修期間で、効果が表れる”というものです。

デザイン戦略は『トップがデザインを信じること』がスタートです。

不況の今こそ、国も道も市も町もデザインの有効性に目を向けて欲しいと考えます。

小中学校のデザイン教育の在り方、高校・大学・専門学校などでのビジネス教育・知的所有権の勉強なども重要だと考えます。デザインがアートとして存在するのではなく、経営の重要な要素であるとしっかりとらえて頂きたいです。それにはブランド意識の低さ、知的所有権等の意識の低さ・無関心さを是正する事、そしてデザインの有効活用を目指す事が大切と考えます。

そして常にそれを伝える努力がデザイナーには求められます。

2010年1月

※7 水道哲学とは松下幸之助の語録に基づく経営哲学。水道の水のように物資を潤沢に供給する事により、物価を低廉にして消費者の手に容易に行き渡るようにしようという発想。

※8 イギリス政府は、産業・学校向けのデザイン普及事業、デザイン事務所の他国への売り込み、デザイン性の優れた製品の政府調達、デザインミュージアム運営資金の2分の1支出など積極的なデザイン政策を取るデザイン大国で、2001年デザイン市場規模はGDPの2.8%と日本の6倍。

※9 韓国は国際競争力におけるデザインの重要性を確認し、両国間でデザインの協業体制の整備を目標とし、翌1999年には「第1回産業デザイン振興大会」を国が主催し、韓国が5年以内にデザイン先進国になる事を宣言した「デザイン産業ビジョン」を発表。大統領自らが「コリアンデザインパワー」というスローガンを掲げ、国策としてデザインの重要性を国民に周知させた。2001年には「世界デザイン会議」を誘致し、これを期に国と自治体とで約100億円をかけて「韓国デザインセンター」を建設、経済界も全国経済人連合会が「産業デザイン特別委員会」を設立し、政・官・財をあげたデザイン振興策が国策として進められた。技術面で日本・欧米に追いつくには、費用と時間がかかる。自国の製品にブランド競争力を付ける上で最も即効性のあるのが、デザイン部門への集中投資であるとの結論の下、韓国の経営者はデザインの力を信じた。

北海道職業能力開発大学

駒木定正先生と行く 近代建築函館の旅。

北海道インテリアプランナー協会ならではの内容の濃いツアーが2009年も開催されました。駒木先生によるマニアックな解説・貴重な体験・美味満喫と、参加した方々には非常に評判が良かった様です。

はこだて未来大学の高所にある渡り廊下を渡ったり、東本願寺の小屋裏へ上がったりと、アドベンチャーもありの今回の旅。その様子の一部を皆さまに紙面でご紹介。読後に「参加したかった。」と悔む声、続出かも…。普通の観光コースとは一味も二味も違うプランナー協会らしい函館ガイド、次回の旅の参考にどうぞ。

注) 通常非公開の所もあります。

〈スケジュール〉

1日目 箱館奉行所復元工事現場／はこだて未来大学／宿泊 オーベルジュ古稀庵

2日目 天祐寺／函館八幡宮（旧社務所貴賓殿）／弥生小学校／中華会館／東本願寺函館別院

復元工事中の箱館奉行所見学

箱館奉行所の復元工事は、奉行所を復元することがメインの目的ではなく、五稜郭整備事業の一環としてなされていると話すのは、(株)文化財保存計画協会主任研究員 北海道支部長 木下寿之氏。木下氏が熱く、そして丁寧な説明を交え奉行所を語った。

復元することの意味と本質

五稜郭の様な史跡を整備する、史跡環境整備とは、史跡を正しく整備し多くの人に分かりやすく伝え、正しい理解を助けるために、当時と同じような状況に整える事、そしてそれを活用するための事業です。もちろん遺跡の保護が最優先です。

本来の史跡地の歴史的な価値や構成が、なかなか分からなくなって来ている今日、歴史的な技術を持って整備を行う事が、より分かり易いのです。復元するには当時と同じ木を使い、当時と同じ構造で、当時と同じ形状で、当時と同じ位置に、当時と同じ姿に建てるという事が大原則です。ただ、市からの要望で建築基準法を満たす設計という課題もあり、隠れるところには金物などを入れて補強しています。

函館であれば、一般の方々はいづれ五稜郭の方へ目が行きがちですが、当時郭内は奉行所を中心に建っていて、実際は箱館奉行所を中心とした、幕末当時の蝦夷地の政治的中

心地であったという事をきちんと理解して欲しいのです。

復元への道

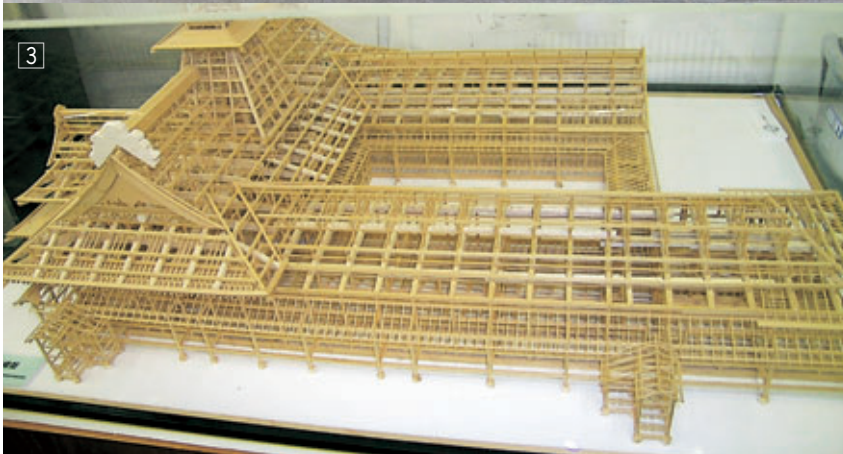
復元の年代をいつにするかを決めますが、五稜郭の場合は付帯工事を含め関係工事終了の1866年としました。当時に忠実にと、まず発掘調査をして確認し復元を考察で積み重ねる作業が続きます。

基本設計に1年、実施設計に1年、そして工事着工から今年で3年目、あと1年で竣工を予定しています。

復元にはまず発掘調査をしました。根拠の優先順位として、最優先は発掘の結果です。

また、その他の根拠として、平面図(絵図)数枚からは部屋の構成・柱の位置・彩色なので畳か板か・建具の仕様などを調べ、立面の根拠としては古写真が2枚。そして、大工の出来高仕様書からは、棟ごとの規模・軒の出・軒の高さ・仕上・部材ごとの寸法・継手の仕様などを読み取りました。調べていくと、絵図や仕様書などには、所々に間違いがあり、整合しないところは発掘や古写真と比べて修正し、設計に反映させました。また、それでも分からない所は、同時代の類例の建物を調査してどういう規則性・やり方があるのかを調べ、設計に反映させるという方法をとりました。



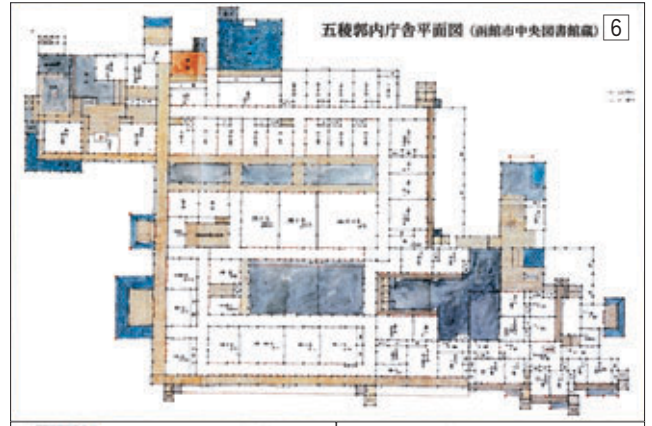


- ① 箱館奉行所庁舎復元工事写真
- ② 箱館奉行所庁舎復元完成イメージ図
- ③ 箱館奉行所庁舎復元完成模型
- ④ 五稜郭跡・箱館奉行所庁舎復元位置

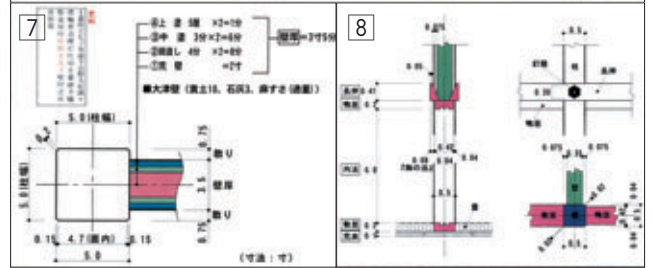


5

- 5 慶応4年(1968)撮影といわれる古写真
- 6 五稜郭内庁舎平面図 函館市中央図
- 7 柱面幅と壁散り
- 8 長押と鴨居



6



7

8

続く細かい考察と検証

箱館奉行所復元の基となったのは当時の奉行所を写した名刺大より少し小さな写真と遺構調査で掘り出された瓦などです。写真については当時のカメラの精度を、東京のカメラ博物館にて調べ検証し、写真を撮影した位置を探しました。

古写真に写る瓦を数え、古写真に写る姿を解析し、図面に起こしていきました。38,000枚もの瓦を使った屋根。発掘された瓦は赤い色だったので、越前の瓦ではないかと推測をし、分析をし、色々な窯元の土を用いて見本サンプルを作成してもらいました。建造当時の達磨窯・登り窯では当然1枚の瓦の中に色ムラができます。現在の技術では逆に色ムラを作るのは難しいので大変でした。逆に基準色を決めて、その濃淡で4種類を作り、組み合わせの中で赤い色ムラを作ろうと、当時と同じ高さに上げて、下から見た時に色ムラがあるように見えるかどうかを確認していきました。瓦の完成までにはおよそ2年かかりました。

手持ちの資料から、細かい考察をし、色々な個所のモックアップを作成し、現地で同じ高さまで吊って検証を繰り返したりして工事を行っています。

古写真にドラマあり

復元の基となった古写真は東京の方がお持ちだったのです。その方の祖父がフランス旅行に行った時に、たまたま骨董品店でアルバムになっている古写真を見つけまして、写真のコレクターであったので、どこの城が分からないけれど、日本へ持ち帰りました。その写真の裏には姫路

城と書かれていたそうです。その後色々な方がその写真を見て、これは姫路城ではなく函館奉行所ではないかと判明したのです。

この写真がなかったら部位や仕様が分からなくて、文化庁の提唱する「史跡環境整備」基準に適合しない為、奉行所の復元は実現しない物となり、五稜郭整備事業の計画立案さえ危ぶまれました。

その後も、どの様なものからどの様に寸法を割り出したのか、また使用材料について、細かい納めで苦労をした所などの話が続いた。また木下氏が非常に拘ったのが、軒先のラインとの事。どの位置からどの位反っているのかが、時代性を表していて、蓑甲・軒の反りなどから当時の大工の腕やセンスが分かるからと語りました。

見学中は5間飛んでいる広間に驚嘆の声が上がった。また、天井を貼ると木組みが見られなくなるので「文化財を活用する」という観点から一部板を取りアクリルを入れて見られるように計画中との話でありました。

奉行所現場は、天井がまだ仕上がっておらず、小屋組が見られる状態でした。見学にはナイスタイミング、宮大工だった父親のことを思いだした。

～小林 直樹

これはモダンであった。越前瓦と渋柿は味のある赤で銅板は黒く、外観は赤と黒でまとめられている。一方内部は白木と土壁、畳が黄色のインテリアで、潔い和風の意匠と相まってモダンを感じさせる。

～廣重 拓司(ビジター参加)

はこだて未来大学見学

オープンスペース、オープンマインドなガラスの箱

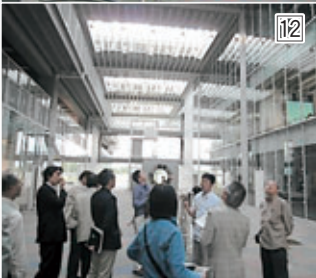
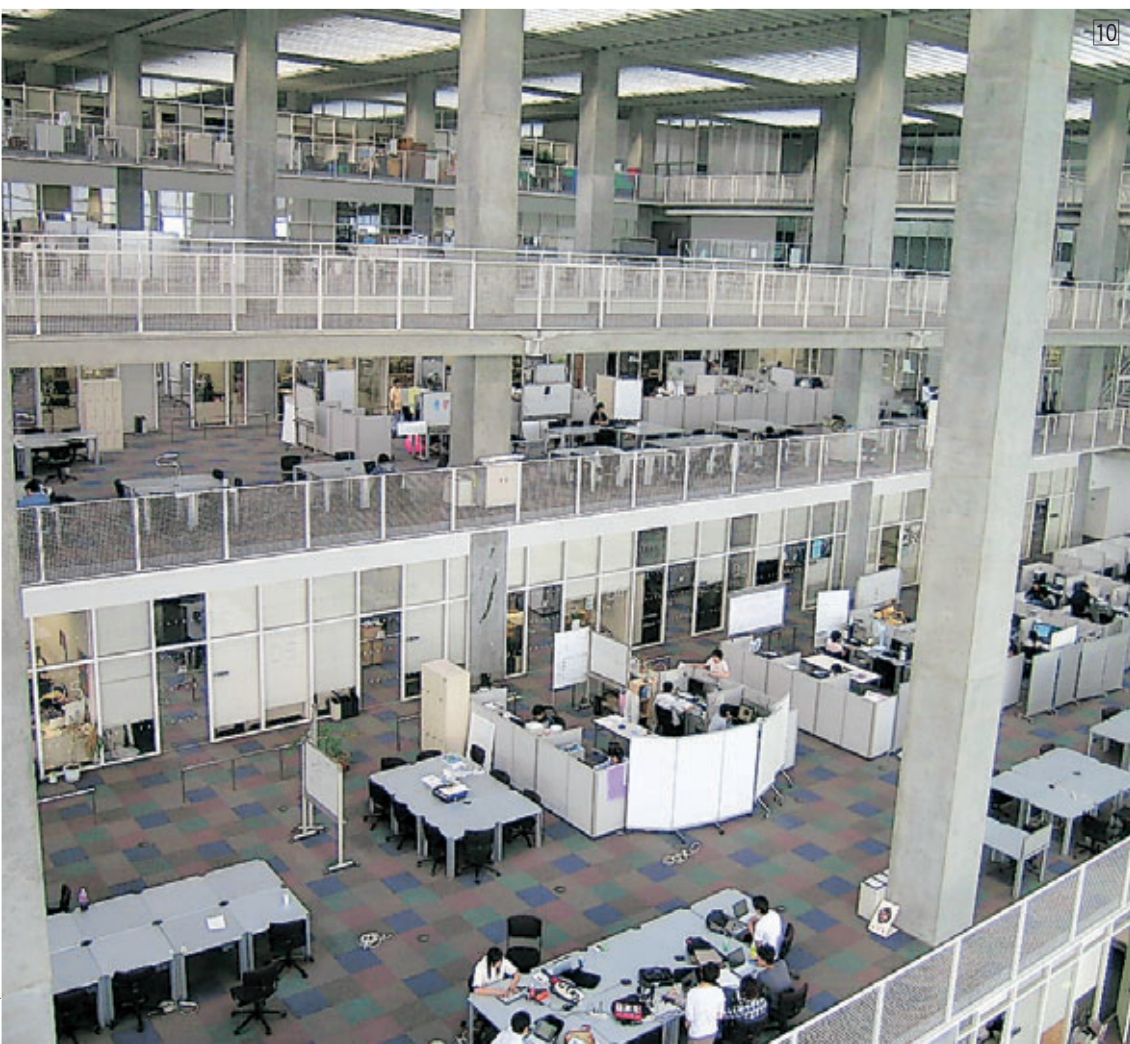
鉄とガラスとコンクリート、気持ちのよい大スペースの明るい校舎。事務局の方のお話からは、ガラスの建物の熱の問題、広い空間で冷やすには費用が掛かり、コスト的に厳しい事。緑地維持に悩んでいる事などを聞く事も出来たが、色々な賞を取ったこの建物を誇りに思い大切にしている様子が伝わって来ました。

学生達はこのようなキャンパス(建物)の中で、ITによる社会で使われているシステムのデザイン等を学び、より実

践的・高度なIT人材になるため、この広い空間で日々学びチャレンジしているのでしょう。

設計したのは「山本理顕設計工場」設計事務所ではなく設計工場というのがユニークだ。なんとなく未来をイメージできる。白い郵便ポストがあった。これも未来的である。圧倒的な開放感がある校舎である。アメリカ政府組織のオシャレなオフィスを連想する。こんな環境で勉強できるのが羨ましい。
～佐々木 義則

函館山をのぞむ雑壇状の吹き抜けは圧巻で、この場所・この大学には是非ともこういう空間が必要だったと思わせる説得力がある。活き活きと動き回る学生、机にうなだれて休んでいる学生、すべてがキャンパスのワンシーンで、皆で共有できるのがうれしい。慎重に決定されたモジュールは厳格に守られ、構造を規定し、システムの美しさを堪能できる。一方増築された研究棟は半地下に埋められ、ランドスケープと一体となっている。スチールFBで組まれた三角メッシュの壁は、構造体であり、窓であり、壁であって、その姿は、雪がちらつく北国の風景を表現している凝り様で、単なるシステム設計から抜きん出た設計者の力量に感服。
～廣重 拓司(ビジター参加)



- ⑨ はこだて未来大学外観
- ⑩ スタジオ・アトリエ
- ⑪ デルタビスタ
- ⑫ モール



13 2階ふすま絵
14 天祐寺庫裏外観



天祐寺見学

気品溢れる紀州徳川家の建物を移築した庫裏

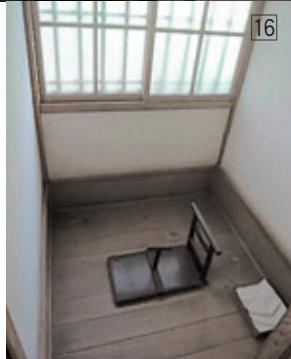
紀州の徳川家が東京に大正11(1922)年に建てたものであったが、競売にかけられていました。それを先々代住職が買ってきて移築。同時に出ていた能舞台も欲しかったそうですが、そちらは他の方の手へ。東京はその後の空襲で、東京にあったこの手の建物はほとんど現存していないのです。それからもこの建物の重要性が分かります。菊の花の襖絵は色あせずに非常に美しい。部材は面取りをしてとても繊細です。

二階の襖絵が特に素晴らしいと聞き、上がらせて頂いた。鮮やかな小川が柔らかく座敷の襖に連なって流れていた。その美しさに息を呑んだが、感動はそこでは終わらなかった。縁側の障子を閉めると障子越しに柔らかな光がうっすらと差し込み、往時の暮らしはこんな薄暗くも微妙な明暗が美しい生活であったかと思った瞬間、襖絵がほの明るい輝きを放った。金箔である。障子を開けた状態では気が付かなかったほのかな金箔が浮き出てきたのである。ドラマのような静かな感動が見学者全員に伝わった。

～住田 協子



15 旧社務所
貴賓殿外観
16 貴賓殿便所



函館八幡宮貴賓殿見学

ゴージャス！皇族仕様

式年遷宮時に伊勢神宮を建てた時の宮内庁の技師と大工達が、伊勢からまっすぐ函館入りし、大正2(1913)年にこの八幡宮の社殿建設に着手し(大正4年竣工)、その後明治神宮を建てに東京に向かいました。伊勢神宮と明治神宮を建設する中間期に建てられましたが、決まり切った形式だけにとらわれずに、伸びやかに造っている様子が建物から感じられます。大正の初めに出来ているので、幾何学的な組み物に変わっていく様子が、他の建物と比べると、デフォルメされているのが分かります。

特に屋根のプロポーションは非常に美しく、建物は水平線を意識的に揃えて工夫をしていて綺麗です。軒反りをどのように出すか？設計なのでしょう。逆にどんな風に計算してその寸法を出したのかという事が実測図を書くときに一番困る事なのです。

旧社務所内部の見所は、皇族を迎えるための上段の間とされた小組格天井、さらに漆塗りの便器です。トイレは現在使われていませんので落ち着いて見学できます。

東本願寺函館別院

わが国最初のコンクリート造の寺院～鉄骨小屋組みまで

大正4(1915)年に竣工した鉄筋コンクリート構造の躯体と鉄骨小屋組みによる本格的な寺院です。設計した伊藤平左衛門は当時80代、もともとは木造の寺社建築の日本のトップが、大火後の函館で防火を目的に、コンクリートに取り組みました。軒反りや垂木の仕割などは木造と同じプローションでやっていて、いかに意欲的だったかが分かります。

当時コンクリートは珍しい材料だったため、檀家が「訳のわからない所の砂や砂利を混ぜた寺に自分がなくなった時葬られる、そこで拝むはまっぴらだ」と大反対しましたが、寺は骨材を水で洗い清め、上棟式では函館中の芸者さん達を呼んでネオンサインを点けてコンクリート躯体の建物の上にあげ、これだけ丈夫だから大丈夫ですと披露した写真も残っています。現在は国の重要文化財になりましたが、このような創建のエピソードが伝えられています。

この実測で気が付いた事は、柱の芯が梁間方向は通っているが桁方向は通ってない。梁は柱位置で節点を持たずに大梁と結合している事でした。アメリカの技術者も加わって小屋組を設計している事になっていますが、鉄骨で組んだ小屋組みは、なぜか洋風(トラス構造)ではなく日本の伝統的な井桁状の小屋組になっています。

函館に住んでいても、この機会でなければ見る事はないだろうと思いました。時々、見ているはずの建物ですが、駒木先生の説明で、この函館に現存していることを再認識させられました。思ったより大きな小屋裏空間で、びっくりしました。2階建の家がすっぽり入るように思えました。

～林 功

この時代の鉄骨はリベット打ち、狭い場所は、ボルト、ナット接合でした。鉄骨は、なんとH型钢材とリップ鋼材で組み立てられている。RCの小梁巾600mm断面は、T字型をしている。余談ですが写真には、当時の職人さん？の記録が沢山書かれています。大きなオーブもいっぱい写真に写っていました。

～小林 直樹



17 表門(国指定重要文化財)

18 本堂外観

19 本堂小屋組

函館ツアーの様子が少しでも伝わったでしょうか。紙面の関係で掲載出来なかった感想や解説、そして沢山の画像などはホームページからお楽しみ頂ければと思っています。

北海道インテリアプランナー協会の
ホームページ内の会員便りにてご覧下さい。

<http://www.hipa.biz/index.html>



本誌では、IPEC2009デザイナーズショーケースに参加出展した当協会会員の(株)アモウと田中千佳さんの作品について出展までの過程をご紹介します。今年開業しました新千歳空港国際線ターミナルビルロビー家具は、田中千佳さんがデザインに携わったものです。

テーマ

ひと環境デザイン

会期

2009年11月11日～11月13日

東京ビッグサイト西ホール来場者数 19,773名

■デザイナーズショーケース参加数21チーム

HIPA会員出展コラボ:

出展企業 株式会社 アモウ

デザイナー 田中 千佳さん

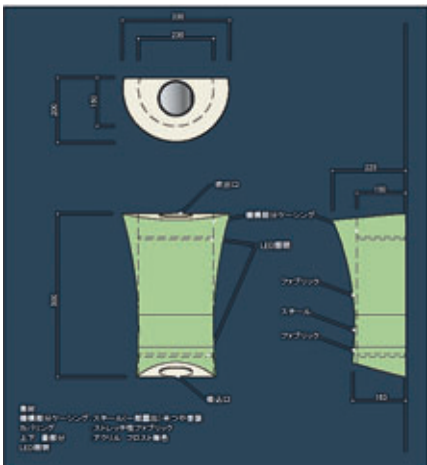
(株)アモウ『すいえんくん』デザインコンペスケジュール

・コンペ説明会:平成20年12月20日

・エントリー締切:平成20年12月30日

・応募締切:平成21年1月31日

※応募資格HIPA会員(正会員・準会員・賛助会員)



■デザイナーのデザイン意図とデザイン決定まで

デザイン条件を受けて

- 居室には優しさ、やわらかさが欲しい。
- 流行を取り入れたい。
- 間接照明の機能を兼用させる。

というところから、機械本体をストレッチ性ファブリックでカバーする案をつくりました。照明シェードの発想です。

この素材を選んだ理由

1. ストレッチ素材の特性で三次曲面が生まれる<やわらかさ>
2. 色が豊富でプリントも可能<流行に対応>
3. 光を通す<雰囲気作り>
4. 布だけ交換出来る<エコロジー>

自分の中では一番良いアイデアでしたが、家電製品にありがちな外形になってしまったと思いました。



完成作品(製品)

展示ブース

■デザイナーvsメーカーvsカバー縫製

7月末、アモウさんとの打合せが始まったものの、工業製品製作には素人の私。簡単に出来そうにイメージしていたことが、実はとても難しいことでした。フレームと布地をどう組み合わせるか。布だけ交換するためには、フレームに相当な工夫が必要なのです。アモウ工場の福地さん・布地縫製のプロ遠藤さんには大変ご尽力いただきました。機械を理想的な小型化までにする事はできませんでしたが、機能とデザイン形状(2割ほど大きくして仕上げました)をアピールするには十分と考え、IPEC出展を果たしました。

水島弘子 (河野銘木店) が見た ちょっとマニアな北陸



2009年4月インテリアプランナー協会北陸大会に参加して、永平寺や大滝神社を見学し、この他にも色々な建物を見て来ました。

今回の旅で大きく感じたこと、それは北海道と違い日本の文化や人間関係を含めた歴史が、その土地や地域に根強く残っているということ。また、建物を維持保存するための近隣の協力体制に感心する反面、自然環境の変化に伴い資材が不足している現状を見たり、聞いたりした時に寂しい気持ちにもなりました。それを目の当たりにして大量生産の時代も終わりかな…と。

この事に付随するかどうかは分かりませんが、最近

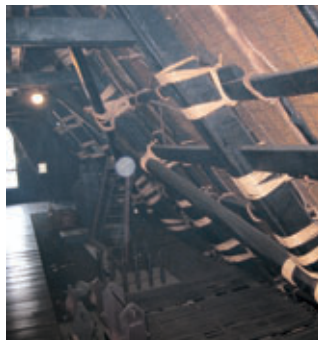
100年住宅という売り文句を耳にします。永く使われる物造り、これは大変に結構なことと思いますが、代々受け継いで残したいと思われる物なのか？建物を例に挙げれば、外壁や内装材が新建材で出来上がった物、これの50年先いえ10年先は美しく残っているか？きっとボロくなってリフォームという結果になると思います。本当に代々受け継いで残していくには、経年変化しても美しいものでなければ残されないという事、それは自然の中で育まれた土や草や樹木であり、それらを形にする人の技量も咬み合わなければ中途半端に終わってしまう。そう実感した旅でした。

永平寺や大滝神社に限らず大昔から残る建物、複雑怪奇(?)な造りでも立派に残っている。構造計算なんてなかったろうに・・・昔の人は凄い！です。見学してきた建物のインパクト指数★★★★☆と見所を紹介！

神田家〈白川郷〉

木造建築物の原点と言われる造り。柱や横架材はホゾに栓差しだが、小屋組みは全てが縄と藁(つた)で括り付けられている。また、隙間を塞ぐように藁が詰め込まれている。自然環境に逆らうことのない建物

インパクト指数 ★★★★★



永平寺〈福井〉

3D彫刻の虹梁、大広間の格天井も見事だが、この他に気になるものが！とところどころ床に穴が開いている？床下換気？？謎の穴

インパクト指数 ★★★★★



兼六園の桜！と 野村家の鯉〈金沢〉

どの建物も面白かったけど、して印象深いのが野村家のお茶室の天井材。杉か檜の皮！珍しい！あと一つは成巽閣二階網代の間、唯一焼け残った奇跡の「野村さん人形」(笑)。

インパクト指数 ★★★★★

大滝神社〈福井〉

唐破風と千鳥破風の組み合わせ・3D化した鳳凰や龍の彫刻、葺甲のラインがとても美しい。ここでワンポイント！神社仏閣を見て大工さんの技量が見える部分そこは「葺甲」を見ると分かります。(瓦屋根は除く。)葺甲を仕上げるには下地が一番大切です。葺甲の美しい形・ラインは、その部分がクジラを横から見た時のお腹のラインが膨らんで丸みのある形です。秋刀魚のような形では美しいラインとは言えません。屋根の大きさに伴いバランスを整えます。

インパクト指数 ★★★★★



ホテル日航金沢6F

インパクト指数 ★★★★★

日本料理「弁慶」〈金沢〉

一歩足を踏み入ると、ここはホテルという事を忘れさせる数寄屋空間。庭園も立派なもので本気でここが6Fであることを忘れさせられた。

U建築事務所
会員 大橋 良平 さん

大橋氏は、31年前にU建築設計事務所を設立。平成元年に社名を変更しU建築事務所としました。社名から「設計」の二文字を消したことにより、設計のみにとどまることなく、不動産を含め建築にかかわること全般を手がけてきたそうです。

設計を行う上での大橋氏のこだわりは、「住宅の設計は白いキャンバスを提供すること。そこにインテリアという色付けは住まう人に任せてきた」とのこと。また、仕事の上で心がけていることは、「お客様の人生をデザインしたい。」例えば、アパートの設計の際にも、経営、メンテナンス、空室の入居等、設計・建築・不動産全般にわたり、お客様の生活と真剣に向き合って総合的に提案をしているそうです。

大橋氏が、HIPAの皆様へ伝えたいことは、「若い人は、いろいろな可能性を探ってほしいと思います。」独立してひとつの業種で利益を出し続けるのは至難の業。いろいろな可能性に挑戦して、自分の会社をどう経営していくかを常に考えてほしいとのこと。厳しい時代だからこそ、大変重みのあるコメントでした。



Off-Beat Crafts
会員 原 さくら さん

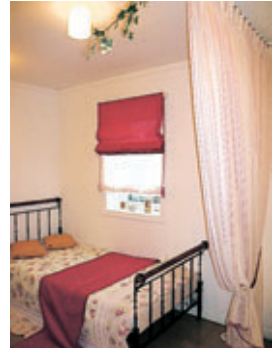
今回は函館を拠点として活躍されている原さくらさんを、ご自身がインテリアデザインを手掛けたモデルハウスにお訪ねしました。

そこは若いご夫婦と小さい娘さんの家庭を想定し、白を基調に木の温もりが感じられるナチュラルテイストのすてきな空間に仕上がっていました。

7年前に勤められていた設計事務所から独立され、現在では建築設計はもとより店舗設計・インテリアプランニング・CGパース・ウェブデザインなど大変幅広くお仕事をされています。「何ができるか」ではなく「これも出来ませう」が私の売りです！と原さん。とてもポジティブな性格がうかがえます。

また、「私自身が事務所です。」と笑っておっしゃる原さんは、いつでもどこでも仕事ができるようにMACのノートPCに必要な情報を全て入力持ち歩いていらっしゃいました。その飄爽としてエネルギッシュな仕事ぶりに驚かされます。

そんな多才でチャーミングな原さんの今後のさらなる活躍が楽しみです。



賛助会員 株式会社 福住

株式会社 福住は、札幌市東区の諏訪神社の裏にあります。豊平区の福住とよく間違えられますが、昭和61年3月、北12条東1丁目に設立してから今年で24年目になります。転勤族のご自宅やアパートオーナーからお預かりした賃貸物件を管理する仕事から始まり、リフォーム、新築と領域を広げてきました。現在は建築業・管理業の他にアメリカ最大の水回りメーカーのKOHLER社、ドイツの水栓メーカーのハンズグループ社のディーラーもさせていただいております。今年からカナダのパシフィックリム社のオーダーキャビネットも取り扱う予定です。

北12条西1丁目にあるKOHLERショールームは、レストラン「イル・ネージュ」とコラボして営業しております。キッチンシンクやラバトリー等をご覧いただきながら食事を楽しんでいただいております。会社にもKOHLE商品を展示しておりますので、お気軽にお立ち寄り下さい。



今年のKOHLER&福住の一押しは、「無水小便器」です。洗浄水を使わないエコロジーな商品ですが、米国の製品デザイン賞を頂いた斬新なデザインがとても素敵です。札幌にもすでに設置させていただいております。ご覧になりたい方は当社までお問合せ下さい。

株式会社 福住は「楽しい・おいしい・とても快適」をテーマに「暮らしを設計する」会社です。

賛助会員 株式会社 リリカラ

JR発寒駅周辺は最近イオンショッピングセンターや分譲マンションが立ち並んでいますが、駅の東側は昔から鉄工団地と呼ばれる工場の多いところ。そんな中にインテリアの会社「リリカラ(株)札幌支店」は在ります。

取扱品目は壁紙、カーテン、床材がメインで住宅からホテル、商業施設、公共施設などへ快適な空間作りをご提案できるアイテムを揃えています。それらの商材は「リリカラ」ブランドとして数種類あるカタログ見本帳の中で皆様のお目にかかることが多いと思います。我々インテリア（内装）業界は現場工程の最後の方であり常に納期との戦いを強いられております。そこで材料が札幌に無いことは致命傷となる為、数千点に及ぶ商品を札幌に在庫して迅速なデリバリー体制を組んでいるのです。もしお近くに寄られることがあれば当社の社屋をご覧ください。

リリカラ商品開発は環境保護、デザイン性、機能性を3本柱として推し進めています。特に「自然とつながるデザイン」「日本をフォーカスしたデザイン」「古きよきを大切に想う変わらないデザイン」等の拘った商品作りを目指している壁紙は是非とも一度使ってみて下さい。また今年も新しいカーテン「SALA2010」も発売して好評を頂いておりますのでこちらもよろしくお願ひします。



JIPA Japan Federation of Interior Planner's Association
一般社団法人 日本インテリアプランナー協会

北海道インテリアプランナー協会

〒001-0923 札幌市北区新川3条12-9-11
TEL/FAX: 011-765-3309 <http://www.hipa.biz/> E-mail:mail@hipa.biz

岩手県インテリアプランナー協会

〒024-0032 北上市川岸1-8-5
(有)設計集団 次元分室 菅原建築設計室
TEL/FAX: 0197-65-2544
E-mail:s-sekkei@mx5.et.tiki.ne.jp

山形県インテリアプランナー協会

〒990-0832 山形市城西町5-14-31
(有)菅原デザイン設計室
TEL/FAX: 023-645-3533
E-mail:s-design-risque@msj.biglobe.ne.jp

東京県インテリアプランナー協会

〒141-0022 東京都品川区東五反田5-25-19
東京デザインセンター3F
TEL: 03-3446-8860 FAX: 03-3446-1417
<http://www.jipat.gr.jp> E-mail:office@jipat.gr.jp

静岡県インテリアプランナー協会

〒420-0064 静岡市葵区本通10-30 黒田設計(株)
TEL/FAX: 054-255-8027
<http://ipas2006.hp.infoseek.co.jp/>
E-mail:dzh00273@nifty.com

中部県インテリアプランナー協会

〒460-0011 名古屋市中区大須1-2-14 櫻屋ビル1F
TEL/FAX: 052-209-9600
<http://www.chubu-ip.com>
E-mail:cip@chubu-ip.com

北陸県インテリアプランナー協会

〒920-0861 金沢市三社町11-16
金沢科学技術専門学校
TEL/FAX: 076-222-1023
E-mail:yamakoshi@kist.ac.jp

一般社団法人 関西インテリアプランナー協会

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-13
ヤマトビル本館9F
TEL: 06-6266-5735 FAX: 06-6266-5745
<http://www.jipa.net/kipa> E-mail:kipa@jipa.net

中国県インテリアプランナー協会

〒731-5135 広島市佐伯区海老園1-13-7
(有)エルイーオー設計室
TEL: 082-923-2132 FAX: 082-922-0018
<http://cipa21.com/> E-mail:cipa@cipa21.com

西日本県インテリアプランナー協会

〒810-0041 福岡市中央区大名1-9-45-403
アーキデザイン校
TEL: 092-751-3303 FAX: 092-751-8088
<http://www.9ocn.jp/nipa/> E-mail:nipa@tune.ocn.ne.jp



安達 政則
 勤務先：(株)ケンテック
 〒065-0013
 札幌市東区北13条東1丁目1-10 J-sense2F
 TEL：011-299-5622
 二級建築士免許証
 監理技術者資格者



石崎 友紀
 勤務先：札幌市立大学デザイン学部
 〒005-0864
 札幌市南区芸術の森1丁目
 TEL：011-592-5760
 TEL：090-5224-8184
 tomo523@kfz.biglobe.ne.jp



延壽さやか
 北海道芸術デザイン専門学校
 建築デザイン
 pepper22-s.y.k@ezwbeb.ne.jp



須藤 大
 北海道芸術デザイン専門学校
 建築デザイン
 TEL：011-756-0777



中尾 和行
 勤務先：(株)中尾和行建築設計室
 〒069-0382
 岩見沢市幌向北2条2丁目591-36
 TEL：090-9524-7974
 一級建築士158881号
 APA069002号



田村 道子
 勤務先：Life Styling abmi
 〒060-0031 札幌市中央区北1東2-5-3
 塚本ビル北1館SEKO SHOWROOM内
 TEL：090-3394-9481
 http://www.just.st/735847/
 happy.abmi@flute.ocn.ne.jp
 二級建築士、インテリアコーディネーター

賛助会員

株式会社内田洋行 北海道支店

〒060-0041 札幌市中央区大通東3-1
 TEL：011-214-8511

白馬堂印刷株式会社

〒064-0823 札幌市中央区北3条西25丁目
 TEL：011-621-1471

(敬称略)

財団法人 建築技術教育普及センター 北海道支部
 〒060-0042
 札幌市中央区大通西5丁目11 大五ビル6階
 TEL：011-221-3150

アームテクノ株式会社
 〒060-0031
 札幌市中央区北1条東11丁目21
 TEL：011-251-6616

アイカ工業株式会社 札幌支店
 〒003-0006
 札幌市白石区東札幌6条5丁目1-4
 TEL：011-811-9201

株式会社あさひ製作所
 〒062-0911
 札幌市豊平区旭町5丁目2-7
 TEL：011-811-6028

有限会社小笠原工芸社
 〒062-0039
 札幌市豊平区西岡538-8134
 TEL：011-582-8120

株式会社川島織物セルコン 札幌営業部
 〒060-0009
 札幌市中央区北9条西24丁目4-1
 TEL：011-644-1188

株式会社カンディハウス札幌
 〒064-0946
 札幌市中央区双子山4丁目1-10
 TEL：011-511-0303

有限会社黄田印刷
 〒064-0811
 札幌市中央区南11条西17丁目1-2
 TEL：011-551-0150

クリナップ株式会社 札幌支店
 〒003-0023
 札幌市白石区南郷通11丁目北1-30
 TEL：011-864-8001

株式会社Hand Made
 〒004-0867
 札幌市清田区北野7条4丁目11-20 ホワイトヴィラ74 1階
 TEL：011-888-1122

株式会社福住
 〒065-0012
 札幌市東区北12条東1丁目4-23
 TEL：011-753-4555

北海道芸術デザイン専門学校
 〒001-0027
 札幌市北区北27条西8丁目
 TEL：011-717-6949

北海道東リ株式会社
 〒060-0062
 札幌市中央区南2条西10丁目 アラゼンビル
 TEL：011-214-8340

物林株式会社 北海道支店
 〒060-0003
 札幌市中央区北3条西2丁目10-2 札幌HSビル
 TEL：011-271-1188

ヤマギワ株式会社 札幌営業所
 〒063-0002
 札幌市中央区北2条西1丁目10 ピア2・1ビル6階
 TEL：011-221-1321

リリカラ株式会社 札幌支店
 〒063-0832
 札幌市西区発寒12条12丁目2-20
 TEL：011-666-2125

小林商事株式会社
 〒065-0013
 札幌市東区北13条東1丁目1-10
 TEL：011-862-5740

株式会社札幌ファニチャー
 〒061-1270
 北広島市大曲279-70
 TEL：011-377-2177

株式会社サンゲツ 札幌店
 〒003-0011
 札幌市白石区中央1条2丁目1-37
 TEL：011-832-3111

シンコール株式会社 北海道本社
 〒060-0051
 札幌市中央区南1条東6丁目1-1
 TEL：011-209-0123

大光電機株式会社 札幌支店
 〒064-0804
 札幌市中央区南4条西13丁目2-2
 TEL：011-561-8067

ケント・ハウス株式会社
 〒060-0809
 札幌市北区北9条西4丁目18番地1
 TEL：011-746-5545

トソー株式会社 札幌支店
 〒003-0012
 札幌市白石区中央2条3丁目3-10
 TEL：011-841-3731

株式会社トミタ
 〒104-0031
 東京都中央区京橋2-3-16
 TEL：03-3273-7551

ニッポー・コーポレーション株式会社
 〒060-0033
 札幌市中央区北3条東3丁目 KNビル1階
 TEL：011-242-3303

パラマウントベッド株式会社
 〒060-0004
 札幌市中央区北4条西5丁目1-4 三井生命札幌共同ビル1階
 TEL：011-219-8800

東芝ライテック株式会社 北海道電材営業部
 〒003-0023
 札幌市白石区南郷通り20丁目北3-28
 TEL：011-868-2015

株式会社タジマ 札幌営業所
 〒060-0001
 札幌市中央区北1条西13丁目4 タケダ札幌ビル1階
 TEL：011-231-8261

札幌齊藤木材株式会社
 〒060-0041
 札幌市中央区大通り東2丁目15番地 フジミツビル4階
 TEL：011-231-2082

株式会社ダンク
 〒061-1274
 北広島市大曲工業団地4丁目6-6
 TEL：011-370-5301

有限会社ライフクリエイティブくまがい 札幌事務所
 〒060-0032
 札幌市中央区北2条東3丁目2 札幌セントラルビル4階
 TEL：011-676-8121

株式会社アモウ
 〒004-0839
 札幌市清田区真栄363-25 札幌ハイテクビル真栄
 TEL：011-887-4520

ビーエス工業株式会社
 〒061-1112
 北広島市共栄41-3
 TEL：011-373-2221

◆ 協 会 案 内

1987年、建設省の告示に基づきインテリアプランナーの資格制度が発足し、その後インテリアプランナーの重要性が認識されるとともに、日本全国で資格取得者が増加してきました。

北海道インテリアプランナー協会（略称：HIPA）は、全国初のインテリアプランナーの資格団体として1991年に設立されました。その後、全国各地でインテリアプランナーの協会が発足すると、1998年には全国の協会を統合した日本インテリアプランナー協会協議会が発足しました。その後2004年12月に法人日本インテリアプランナー協会が設立されました。

協会では、インテリアプランナーの知識向上に始まり、一般的なインテリアに対する知識の普及や啓発を通して社会に貢献することを目標として、研鑽の日々を送っています。

会 費		
	入会金	年 会 費
正 会 員	10,000円	12,000円
準 会 員		8,000円
賛助会員		20,000円を一口とする
学生会員		5,000円

◆ 平成22年度インテリアプランナー試験日程

試験案内配布開始：5月10日（月）

設計製図試験の設計課題公表：7月30日（金）

受験申し込み書頒布：7月30日（金）～9月17日（金）

受験申し込み書受付：8月 2日（月）～9月17日（金）

試 験 日：11月21日（日）（学科試験及び設計製図試験）

合格発表：平成23年2月17日（木）頃

詳細については、(財)建築技術教育普及センターが5月10日（月）より配布する「平成22年度インテリアプランナー試験案内」をご覧ください。なお、同試験案内は当ホームページにも掲載します。

◆ 設計製図試験・直前講習会のご案内

北海道インテリアプランナー協会では、インテリアプランナー試験・直前講習会を実施しております。昨年度も、この講習会からの合格者が出ています。

【講習会概要】

名称：インテリアプランナー試験（設計製図）講習会

日 時：平成22年10月30日（土）

内 容：設計課題に沿って講師が指導

- ・受験の心得（時間配分、試験会場の雰囲気 ほか）
- ・平面図兼家具配置図・透視図・断面図・その他

【今年度の講習会のお問い合わせ先】

北海道インテリアプランナー協会 事務局

TEL・FAX：011-765-3309

URL：http://www.jaeic.or.jp/ip-nittei.htm E-MAIL：mail@hipa.biz

個人事業主の方々に朗報です

北海道インテリアプランナー協会 会員向けの保険組合「文芸美術国民健康保険組合」日本インテリアプランナー協会として表題の組合に加盟しました。
北海道インテリアプランナー協会の個人事業主の方はこの保険組合に加盟できます。

国民健康保険加入のご案内

医療保険料	22年度	月額	13,500円
家 族	//	月額	6,100円
介護保険料	//	月額	2,400円（平成22年3月現在）

【保険加入資格】

- 日本インテリアプランナー協会が各地域協会（北海道インテリアプランナー協会）の会員であることを承認する。
 - 各地域協会（HIPA）の会員であること。協会会長の承認印が必要。
 - 各地域協会会費の滞納がないこと。
 - 準会員の方は正会員と同額の年会費を納めることで加入資格があります。（8,000円→12,000円）
 - 確定申告書B控の職業欄にはデザイン、インテリアと記すことが条件。
（建築設計業などは認められません、デザイナーであることが条件）
- ※ただし、(株)・(有)等の社員、経営者は加入できません。

【加入手続き】

- 保険組合との手続き窓口は関西インテリアプランナー協会が行う。
- 申し込みは各地域協会の事務局へ申し込み依頼をする。
後日申し込み書などを事務局から郵送する。
- 申し込み時期は随時。

【入会金と事務費】

- 入会金は17,500円（税込み）とする。内7,000円は事故に備えて供託金とし、退会時にはその時点で総額金を組合員総数で割った金額を返却する。
- 事務費は一年間2,500円（税込み）とする。一年毎に関西インテリアプランナー協会の指定銀行に振込。

